

EV路上カーシェアステーションの導入

今後のモビリティのシェアリング社会に対応するためには、バスタのような大きな交通拠点に加えて、道路空間を活用しながら、身近な場所への「小さな交通拠点」をあわせて整備することが必要です。全国では、駅周辺の道路の路側に、カーシェアステーションを設置する実験が行われています。近畿地方整備局では、これを環境の観点で進化させた「EVカーシェアステーション」の取組みについて、官民連携での検討を進めます。

EV路上カーシェアリング

大阪



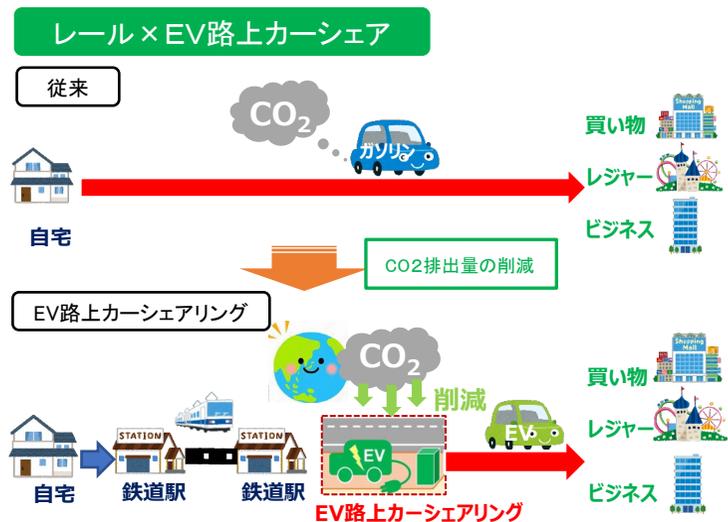
▲路上カーシェアステーション
(東京都港区新橋)



▲路上EV充電機器 (横浜市)



EVカーシェアステーション
設置イメージ



- ▶ 令和6年10月から社会実験を開始する予定です。
- ▶ JR大阪駅など鉄道周辺の国道の路上にカーシェアステーションを設置し、鉄道とEVカーシェアの組み合わせによるCO₂排出の削減や交通利便性向上、災害時の有効活用等の検証を進めます。